

どういん  
「銅印」

町指定有形文化財（工芸品）

所在地：大字坂城 所有者：個人 指定：昭和55年10月15日

この銅印は、銅製の角形の印章<sup>いんしょう</sup>で、大きさは、縦4.0 cm、横4.0 cmで、文字は義を中心に大きく、左右、上下に華文字様の図柄<sup>はなもじょう</sup>を配し、その周囲0.2 cmを隔てて二重の枠がこれを囲んでいます。印面の材の厚さは0.35 cmで、16花卉の菊花を中心に上下一枚ずつの菊の葉がついています。菊の葉は各葉ともに1.4 cmの大きさです。この印章は文久年間<sup>ぶんきゅう</sup>（1861～64）に稲玉徳兵衛<sup>いなだまとくべゑ</sup>により苅屋原泉平<sup>かりやはらいずみだいら</sup>の開墾事業が行われた際に出土したものです。現所有者の先祖が作業現場で碎土中約30 cm下より発見し、以来、同家に伝わり大切に保存されてきたものです。

